



使用説明書

注意 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

1箱でショートヘア1回分が目安です。

- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方
- パッチテストの結果、異常があった方

下記までご相談ください。

株式会社カネボウ化粧品

商品に関するお問合せや美容相談は

☎ 0120-518-520

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪が生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかず、またはかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

1.使用上のご注意 使用前に必ず最後までお読みください。

1.次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2.使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト剤塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマネントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3.使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気のよいところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4.取扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

5.保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

※幼児には使用しないでください。

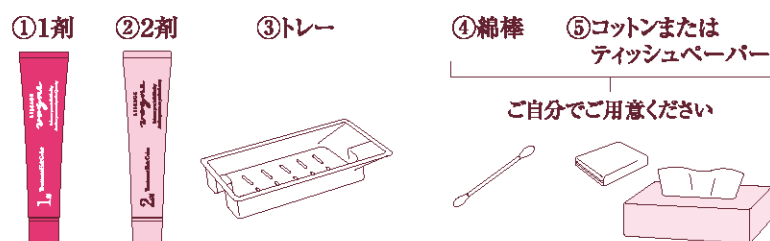
※認知症の方などの誤飲・誤食を防ぐため、置き場所にご注意ください。

※肌に異常が生じていないかよく注意して使用してください。肌に合わない時、使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激、色抜け(白斑等)や黒ずみ等の異常が出た時、直射日光があたって同様の異常が出た時は使用を中止し、皮膚科医へ相談してください。使い続けると症状が悪化することがあります。

2.皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化などにより突然かぶれる場合もありますので、**毎回必ず、染毛の48時間前にパッチテストを行ってください。**

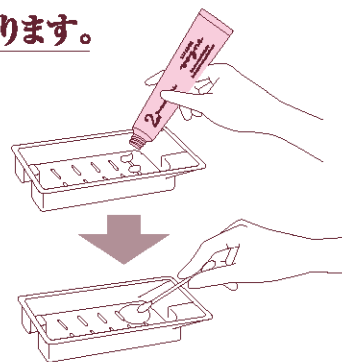
1.次のものを準備します。



ご自分で用意ください

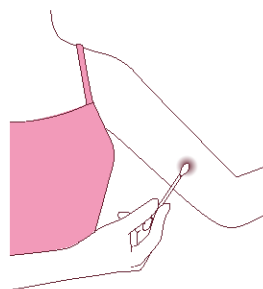
2.パッチテスト用の混合クリームをつくります。

- 1剤のキャップをはずし、キャップ頭部の突起で1剤チューブの口に穴をあけます(十分にねじ込んでください)。軽く押しながら、**あずきつぶ大**の量をトレー上に出します。
- 次に、2剤チューブを軽く押しながら同量出します。
- 綿棒で混ぜ合わせます。



3.腕の内側に塗って、48時間放置します。

- 混合クリームができましたら、綿棒の先端につけ、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させてください。
- そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。混合クリームを塗ったところは絆創膏等で覆わないでください。



★塗った部分は茶色などに着色しますが、パッチテスト終了後、通常の入浴により数日程度で落ちていきます。

★混合クリームが乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。

★塗った部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパーなどで軽くふき取ってください。

★正確な結果を得るために、48時間は、テスト部位をぬらしたり、こすったり、絆創膏等で覆ったりしないでください。入浴やシャワーは、なるべくひかえてください。やむをえない場合は、テスト部位をぬらさないようにご注意ください。

4.テスト部位の観察を行います。

(混合クリーム塗布後30分位および48時間後の2回)

- ★塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
- ★途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、混合クリームを洗い落として染毛しないでください。
- ★パッチテストの結果、異常があった場合には、商品に関するお問合せ先までご相談ください。

5.48時間経過後、異常がなければ染毛してください。

※パッチテストをした部分は、テスト後や入浴時によく洗ってください。

3.使用前の準備

使用前の髪のお手入れ

★シャンプーは、使用の前日までに済ませておきましょう。髪がとくに汚れている場合や、整髪料を多めにつけている時、一時着色料(カラーフォーム・ジェルなど)や金属粉などが髪についている時は、地肌を傷つけないように注意して十分に洗い流してください。

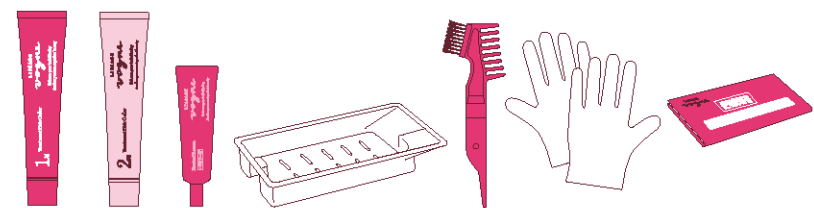
★やむなく当日シャンプーする場合は、ご使用前に、髪を乾かしておいてください。髪がぬれていると、薬剤がたれたり、効果が弱くなる場合があります。

★ヘアカラーの後にパーマをかけるると色落ちすることがあります。パーマをかける方は、本品ご使用の1週間前までに済ませてください。

★髪が長い方や、パーマをかけている方は、髪のからまりや引っ掛かりを抑えるため、染毛前に髪をとかしておくことをおすすめします。

本品の箱に入っているもの

1剤、2剤、プロテクトセラム、トレー、コムブラシ、手袋、使用説明書



別にご用意いただくもの

- ・汚れてもさしつかえないケープまたは大きめのタオル
- ・水をはじく油性のクリーム
- ・輪ゴム2本(手袋のずれ防止)
- ・鏡・時計
- ・コットンまたはティッシュペーパー
- ・新聞紙などの敷物
- ・タオル



● 汚れてもさしつかえない前開きの衣服に着替え、首にタオルを巻いた上で、ケープまたは大きめのタオルをかけてください。

● 混合クリームが皮膚についても落としやすいように、水をはじくクリームを耳や額、えり足などの髪が生え際にうすくつけてください。水をはじくクリームが髪につくと染毛効果が弱くなりますので注意してください。

★皮膚に混合クリームがついた時は、水でしめらせたコットンまたはティッシュペーパーなどで軽くふき取ってください。

注意! 寒いと染まりにくいので、暖かい場所(20℃以上)でお使いください。

- 大切なご用など、お出かけ直前の使用はさけてください。万一皮膚に色がついてしまった場合を考えると、2~3日前までに染毛されることをおすすめします。
- メガネ、コンタクトレンズ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪などは、はずしてください。
- 混合クリームが衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、床などが汚れないように、あらかじめ新聞紙などを敷いてください。
- 入浴中の使用はさけてください。
- 金属製のクシやヘアピンなどは使わないでください。

※暗めの色に染めてある髪は、一度でその髪色より明るく染め変えることは困難です。

※違う色番号、色名の商品と混合しないでください。違う2つの色を混ぜても、その間の色にはなりません。

★染める前に毎回必ず裏面の要領で皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。
★必ず裏面の「使用前の準備」をよくお読みになってからお使いください。

染める前のお手入れ ダメージヘアの方におすすめ



プロテクトセラム＜ヘアカラー前の美容液＞を髪につけます。

- ①ヘアカラーの前の乾いた髪にご使用ください。
- ②少しずつ手のひらにとり、広がりやすい髪の中間から毛先につけて髪全体になじませます。
- ③洗い流す必要はありません。



プロテクトセラム 使用量の目安

- 【全量お使いの場合】 1本分(20mL)
- 【1/2お使いの場合】 約10mL 500円玉大 3個分
- 【1/3お使いの場合】 約7mL 500円玉大 2個分

使用上のご注意

- ★混合クリームにまぜないでください。
- ★頭皮や根元にすりこまないでください。
- ★使用量は髪質や髪の量などによって異なります。目安としてお使いください。

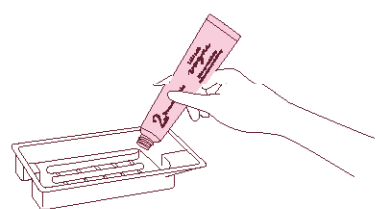
ヘアカラーのご使用ステップ [1箱全量はショートヘア1回分です。]

1.使用する直前に混合クリームをつくります。 ●混合クリームと仕上がりの色は異なります。濃い紫色や濃い茶色などにも変わっても、仕上がりに影響しません。

コームブラシはしっかりとさし込んでください。



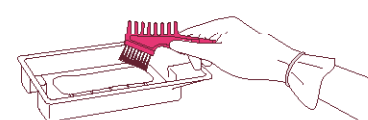
1 1剤と2剤を同量ずつトレイに出します。



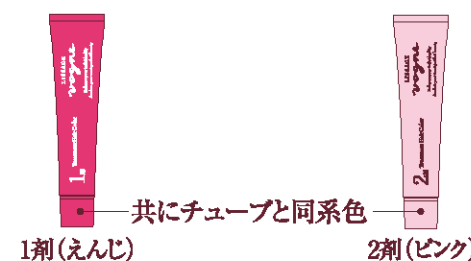
2 手袋をします。
手袋がずれないように
輪ゴムでとめてください。



3 コームブラシのブラシ部で
十分に混ぜてください。



★使用後は1剤キャップと2剤キャップをまちがえることなく、きちんと閉めて保管してください。



●混合クリームをついたら、ただちに染毛を始めてください。混合後、60分以上たつと染毛効果がなくなります。1剤は最後にクリームが黒色～茶色になって出ることがありますが、染毛効果には影響ありません。また、2回目からのご使用の際、1剤の先端が黒くなっていることがありますが、いずれの場合も染毛効果には影響ありません。

2.混合クリームを髪につけます。 ●白髪の多い部分は、混合クリームを多めにつけてください。 ●混合クリームが耳や生え際についた時は、すぐに水でしめらせたティッシュペーパーなどでふき取ってください。 ●クシを使う時は、地肌を傷つけないようにご注意ください。

●全体染めをする方法

髪全体にムラなく、20分以内につけます

約20分程おきます

1 髪の前半分にブラシ部でつけます。



2 髪の後半分にブラシ部でつけます。



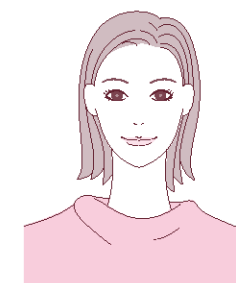
3 髪全体にクシ部でなじませます。



4 白髪の気になる部分にもう一度つけます。



5 20分くらい放置します。



●白髪の目立つ部分からつけていきます。

- ①コームブラシの柄の先で髪を分け、混合クリームをブラシ部にとり、髪の根元につけていきます。
- ②さらに、中間→毛先の順序で混合クリームをつけていきます。
- ③次の部分の髪を分けとり(2cm幅位)、①→②をくり返します。

頭頂部からえり足に向かって髪を分けながら、根元につけます。

コームブラシのクシ部で髪全体によくなじませます。
この時、髪についた混合クリームをクシの歯でしごきとらないようにご注意ください。地肌や髪を傷めないようご注意ください。

生え際、分け目、つむじ、えり足にしっかりとついているか確認します。

- * 白髪が多い方、髪が硬い方、髪が太い方、染まりにくい方は、5～10分程度長めに放置することをおすすめします。
- * 実際の染め上がりの色や白髪の目立ちにくさは、もとの髪色や髪質、白髪の量により異なります。

●リタッチ(新しく伸びた白髪の根元の染毛)をする方法 ※2回目からも毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

20分以内につけます

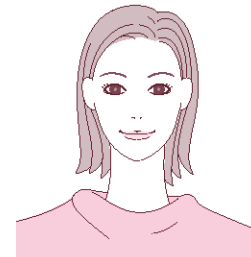
約15分おきます

髪全体になじませて、約5分おきます

1 新しく生えてきた髪の根元にブラシ部で混合クリームをたっぷりつけます。



2 15分くらい放置します。



3 髪全体にクシ部でなじませて、5分くらい放置します。



*すでにカラーリングした部分からつけてると暗くなる場合があります。はじめに根元だけつけるのがポイントです。

*白髪が多い方、髪が硬い方、髪が太い方、染まりにくい方は、5～10分程度長めに放置することをおすすめします。

髪全体の色調を合わせるために、根元につけた混合クリームをコームブラシのクシ部でやさしく毛先に向かって伸ばします。

●部分染め (白髪が集中しているところの染毛)をする方法

白髪の集中している部分に、20分以内につけます。

約20分程おきます

- 1 白髪の目立つ部分にブラシ部で混合クリームをたっぷりつけます。
- 2 クシ部でよくなじませます。
- 3 20分くらい放置します。

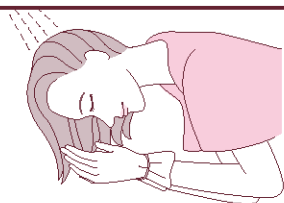
使用後のご注意

混合クリームは、60分以上たつと染毛効果がなくなります。残った混合クリームは、必ず洗い流して捨ててください。

3.放置時間がすぎたらよくすすいだあと、シャンプー・トリートメントをします。

シャンプーはいつもよりていねいに2回してください。

- すすぎ液が目に入らないように注意してください。
- 髪の傷みが気になる方には、トリートメントの使用をおすすめします。
- ※色移りすることがありますので、汚れてもさしつかえないタオルでふいてください。



- ★次の状態では、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
・髪がぬれているとき(汗をたくさんかいたとき、雨にぬれたとき、水泳、洗髪後、頭髪用品の使用後など)。
・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。

次回からの染毛の為に

- チューブに残っているクリーム、プロテクトセラムは次回そのまま使えます。キャップをしっかり閉めて保管してください。
- 暗めに染まった髪色を1回で明るく染め変えることは困難です。次回の染毛から1段階明るい色を使用し、徐々に明るくしていきます。
- 髪の傷みを防ぐため、1ヶ月に1回程度のご使用をおすすめします。
- リタッチを繰り返すと色ムラが出ることがありますので、3ヶ月に1度は髪全体を染めることをおすすめします。